



VUILÐERLAND WhitePaper

PLAY WITH FUNDS

まえがき

このホワイトペーパーを読んで頂き、ありがとうございます。

VUIDERLANDプロジェクトは、メインコンセプトとして「課金ではなく資金で遊ぶ」を掲げています。大雑把に言うと、暗号通貨による完全無政府資本主義の中で、資金の完全な自己管理のもと全人類が平等に安全かつ気軽に（かつ全力で）遊ぶための、ブロックチェーンアプリケーション開発プロジェクトです。

私たちは、現代のスマートフォンゲームにおけるデジタルデータのくじ引きのためにひたすら課金を繰り返す事や、コミュニティを持つゲームに熱中し、ネットワークを加熱させてゲームを盛り上げるヘビーユーザー達に見返りが無い事は不自然な現象だと考えています。

私達は、暗号通貨がこれらの問題を解決出来るポテンシャルを持っているのに、これらを解決しようとする画期的なプロジェクトが存在しないと感じています。

確かに、既に世界中にはゲーム・ギャンブル・ショッピング・コミュニティ…、様々な用途のための暗号通貨（トークン）が星の数ほど存在しますが、未だに人々の生活に密着して人々を熱狂させるプロジェクトはリリースされていません。

そんなプロジェクトがたくさん存在する世界が理想的ですが、ほとんどのプロジェクトのアプリケーションはそもそも存在していないか、使い物にならないものばかりです。

その中で私たちはこのプロジェクトに「カジノ」「仮想世界」における存在意義を見出しています。そして私たちは、それらの領域において利便性を持つトークン、それを扱うAPI、ウォレットを日々研究・開発しています。

VUILDERLANDプロジェクトという名前は、仮想(Virtual)、造り手(Builder)、土地(Land)という3つの言葉をかけ合わせた造語で、 \mathcal{D} はこのプロジェクトのプラットフォーム、Ethereumの基軸通貨である「Ether(イーサ)」を示します。

また、私たちはこのプロジェクトの根底に「日本の文化」を置きたいと考えており、この名前は土地日本伝統の、ものづくり(CREATE&BUILD)の文化を名前に表しています。

ただ、日本文化というものは完全に独創的な文化ではありません。あらゆる国のあらゆる素晴らしい要素を取り込んだ混合的な文化であることを理解しなければなりません。

私たちの発信するコンテンツは時に独創的で、時に過去のすばらしいコンテンツをfeatureしたものになるでしょう。

そして、私たちは私たちが公開する通貨に対して「VUIL TOKEN」と名付けました。

この「VUIL TOKEN」は、自家製のAPIとウォレットを利用し、Webシステムに限りなく寄り添った、個性的なトークンになるはずです。

おそらく私達は従来のトークンプロジェクトと違う（少なくとも日本には存在しないであろう）革新的な軌道を歩むでしょう。

ただ、日本の仮想通貨の法律をクリアするためには多額の資金が必要であり、私たちはとても小さなプロジェクトなので、初期段階では日本の仮想通貨の法律をクリアする資金を作り出すことはできません。

そのため、日本の法律をクリアするための対策として閉鎖的なコミュニティを作り、将来的にそれを拡大するという方法でしかプロジェクトを開始することが出来ません。

しかし私たちはすでに独自トークンや、Ethereum、Bitcoinなどを扱うことが出来る独自ウォレットの開発を終える等、着実にプロジェクトを勧めています。

私たちは、メンバー全員が開発に参加して、着実に一歩ずつ前に進み、泥だらけになりながら事業を進めるでしょう。

確かに私たちには小さな力しかありませんが、小さな努力をたくさん重ねることが出来ます。

それに、スタートアップの規模の小ささはICOの結果でカバーすることが出来ます。

もしみなさんから支援を頂くことが出来れば、私たちはこの理想を、より短い距離で現実に変えることが出来るでしょう。

このホワイトペーパーでは、私たちのビジョンと技術を細かく伝えているつもりです。

是非、最後まで目を通していただければと思います。

VUILDERLANDを宜しくお願い致します。

目次

まえがき	2	VUIL TOKENの発行数と 配布の割合	30
目次	5	トークンセール	32
コンセプト	6	・ トークンセールの概要	
VUIL TOKENの戦略	8	・ トークンセールの詳細	
・ Ethereumプラットフォームの利用		・ 日本の法律	
・ Ether不要の送金API (Xagent API)		・ 権限について	
・ トークンエコノミーの構築		進捗	36
コンテンツ	15	ロードマップ	37
・ 仮想世界		あとがき	39
・ カジノ		コアメンバー	41
・ ビジネスツール			
・ ウォレットアプリ			

コンセプト

PLAY WITH FUNDS

さて、私たちのビジョンを語る上で、このワードを欠かすことはできません。

「Play with funds [instead of charges]」（課金ではなく資金で遊ぶ）

これが私たちのメインコンセプトです。

この言葉には「ひたすらアプリケーションの提供企業に金銭を注ぎ込むだけの前時代的な浪費サイクルから抜け出し、資金(暗号通貨)を利用し、安全に簡単に報酬を得ながら楽しく暮らせる世界を作ろう」という願いが込められています。

この願いの根本の一つに「仲介プロセスの省略」というものがあります。

「暗号通貨が強固なセキュリティの上で海外送金の複雑な仲介プロセスを省略することができる」という話は、ブロックチェーンを語る上でよく言われており、実際、暗号通貨を利用すればごく簡単に海外送金を行うことができます。

そして、この「仲介プロセスの省略」という言葉は、海外送金の仲介の手間の省略を意味するだけではありません。

例えばスマートフォンアプリの開発者がAppleやGoogleに支払う30%ものマージンや、オンラインカジノ事業者が支払うライセンス料。これらは明らかに大きすぎる仲介プロセスの一端です。

また、このコンセプトは世界中で問題の種となっている「ガチャ(アイテムのくじ)」に対しての問題提起でもあります。現代のモバイルアプリの「ガチャ」の本質は、「ガチャ」というギャンブルに勝利したユーザーに対して、正式にユーザーの所有物とならない企業のサーバー上のデータを貸し与えるという不可思議な取引です。ユーザーはいち早くこの謎に気付くべきであり、モバイルアプリを提供する優良企業は、ユーザーがこれに気付くより早くこの間違った常識の改善をおこなうためにも、私たちの意志「PLAY WITH FUNDS」をフォローすべきです。

さらに私たちは、このPLAY WITH FUNDSを実現するために、ユーザーに様々なコンテンツを提供します。

次のページでは、私達が提供するコンテンツの土台となるシステムや、私たちのビジョンについて説明します。

VUIL TOKENの戦略

前述の通り、私たちは「課金ではなく資金で遊ぶ」というメインコンセプトを持っています。

それを実現するために私たちがやらなければならない事はたくさんあるのですが、ここでは私たちが目標を達成するための戦略において重要な3つの項目を紹介します。

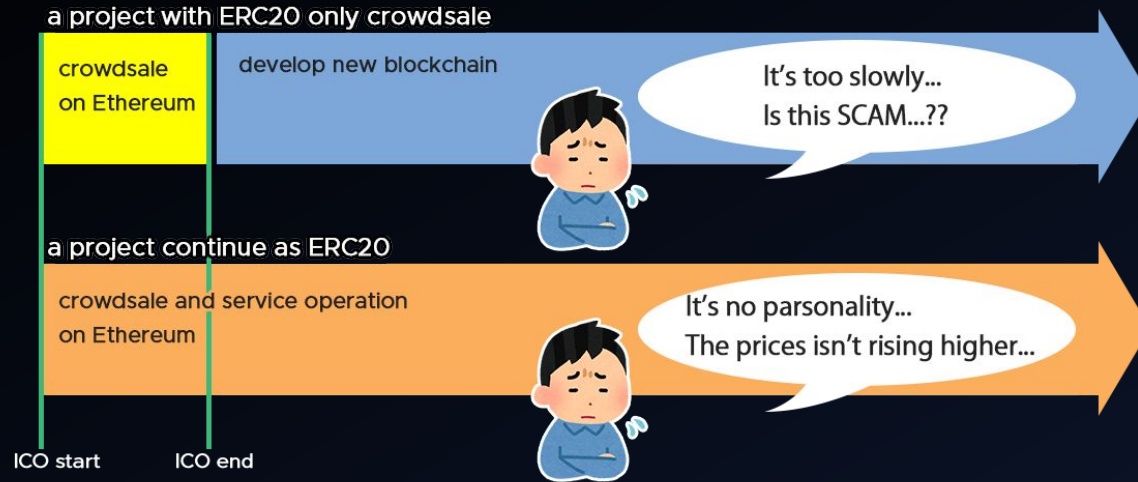
Ethereumプラットフォーム利用の継続

私たちのICOはEthereumのプラットフォーム上で行われ、VUIL TOKENはEthereumトークンとして配布されます。

今までEthereum上で行われたICOのほとんどが、「独自のプラットフォーム構築を目指すプロジェクト」と「Ethereumの上で運用し続けるプロジェクト」に分かれますが、前者のほとんどはICO終了後に独自ブロックチェーンシステムの構築に向けて多くの時間を費やし、ICOから長い時間を経てプロジェクトのスタート地点に立つこととなります。

そしてその間、ICO参加者は完成するかもわからないブロックチェーンの完成を待つこととなります。そしてそれらのほとんどが完成しません。何も作り上げないまま資金を持ち逃げする詐欺（SCAM）もあるでしょう。

そして後者のほとんどが、Ethereumのコントラクトデプロイ時の容量制限によって、クラウドセールとERC20規格による送金機能しか持ち合わせていない、小さなブロックチェーンシステムです。



私たちのプロジェクトは、Ethereum上での運用を続けるという意味では後者ですが、もちろんメリットがあります。Ethereumトークンとして運用することで

- ・ 広く認知されているEthereum用のウォレットで保管が出来る
- ・ 参加ノードが多く世界中に分散しており、改ざんの危険性がほとんどない
- ・ 開発が容易

などのメリットが得られます。

そして、Ethereumのトークンをどのように構築するかはすでに多くのエンジニアによって議論がされ、多くのプロジェクトがERC20という送金の規格を採用しており、スタンダードとなっています。

私たちがICOで配布するトークンは、「ERC1538」というUpdatableかつ大容量の実装が可能な規格の採用によって、ERC20規格の送金機能とクラウドセール機能に加え、すでにこのホワイトペーパーで説明するシステムに必要なスマートコントラクトを実装完了させ、内包しているのです。



そのため、VUILDERLANDプロジェクトは、私たちがスマートコントラクトを簡単に扱うためのAPIなどの周辺機能を完成させてしまえば、ユーザーはそのまま利用することができます。

また、基本的に一度プログラムをブロックチェーン上に上げてしまうと、それをアップデートすることはできないのですが、VUILDERLANDは「ERC1538」の仕組みによってアップデートを行うことができます。

(権利の分散の強化を図るため、最終的に私たちはアップデート機能をクローズする予定です。)

Ether不要の送金API (Xagent API)

さて、Ethereumプラットフォームの利用は、前述のようなメリットを持つ反面、送金時の手数料として少額のEtherを必要とする（つまり利用者は常に少額のEtherを所持していなければならない）ユーザビリティに欠けた特性を持っています。

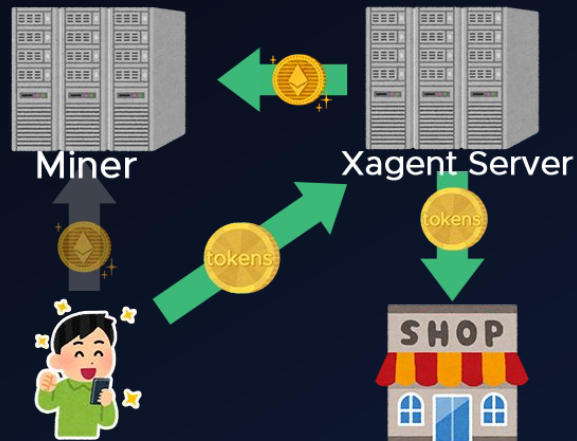
私たちは、Ethereumからの「信頼と利便性」という恩恵を受けながらもユーザビリティを保つため、Xagent（ゼイジェント）という送金APIの開発を開始しました。

このAPIは、私達の独自のウォレットシステムと連携し、ユーザーが送金するコインの一部を手数料として徴収する代わりにGAS(Etherの手数料)を負担するための「ERC865」という規格を含むAPIです。

conventional token transfer



with Xagent Server



これはXagentシステムが所持する送金代行のためのアカウントが利用者の手数料を負担して送金を代行する仕組みになっており、ユーザーはこれを利用することでEtherを持たずに送金を行うことが出来るのです。

また、この説明だけだと皆さんはMt.GOXやcoincheck、DAOのように外部からの不正な操作によって通貨を失ってしまうことを想像するかもしれませんが、その心配には及びません。

送金代行アカウントはユーザーの署名なしに送金することは出来ませんし、もちろんユーザーは自身の秘密鍵を保護するために署名をブラウザの中で行う必要があります。

あくまで送金の主体はユーザーであって、これを代行するアカウントやその仕組みは、ただの送金モジュールに過ぎません。

私達は取引所を運営するわけではなく、取引のためのAPIを公開するだけのチームなのです。

トークンエコノミーの構築

さて、前述のようなAPIはとても利用価値のあるシステムではありますが、使う場所が無ければ無用の産物です。

詳細はあとのページで説明しますが、私達は様々なコンテンツを提供することで、独自のトークンエコノミー(経済圏)を構築します。

例えば、私達は、私達が提供するVUIL TOKENやAPIを使うことが出来る経済圏の中心として、ブロックチェーンの上に作られた無国籍の仮想世界を提供します。ユーザーたちはこの世界の中に土地を持ち、店を持ち、ブロックチェーン上のアイテムを取引したり、現実世界の商品売り買いすることができます。このトークンを使う事が出来る仮想世界が中心として存在し、その存在が現実世界ともリンクするという未来が私達のビジョンの中にあります。

オンラインの世界の様々な場所で、VUIL TOKENを使う事が出来るようになるはずで、あなたが運営するオンラインショップにも、簡単にVUIL TOKENの決済を導入する事が出来るでしょう。

もちろんこの仮想世界にはDeFi機能も搭載されるため、あなたがトークンを貸し出すことによって利益を手にする事も可能です。

このような機能たちを常にアップデートし続けることによって、私達はVUIL TOKENのトークンエコノミーを継続・発展させることになるでしょう。

さらに、私達はこの経済圏のために、raiden networkやplasmaといったプロジェクトのように、オフチェーン技術を利用してEthereumのスケーラビリティの問題に立ち向かいます。
ユーザー達はこれらのオフチェーン技術とXagentシステムを利用する事で、手数料を気にする事なく自由に遊ぶ事が出来るでしょう。



コンテンツ

仮想世界

さて、コンセプトの項目では「ガチャ」の問題をクローズアップしましたが、その「ガチャ」に大きく関係して、現代のスマートフォンゲーム市場に大きなパワーを持つ「ゲーム内通貨」システムとも相性は抜群です。私たちは、私達のトークンエコノミーのために、仮想世界 "Vuilder Land" と、その世界のための通貨 "VUIL TOKEN" の開発に大きな労力を費やす予定です。

この世界の土地は、NFT(non-fungible-token/非代替性トークン)と呼ばれる、世界で唯一のものである事が保証されたデジタル資産として、ブロックチェーン上で管理されます。

現在、ゲーム世界の土地をNFTで管理するプロジェクトとして、既にThe SandboxやAxie Infinityなどの素晴らしいプロジェクトがたくさんありますが、この世界でも土地を購入することができます。

いくらかのランダム要素はありますが、ガチャのように優劣がつくものではなく、ユーザーは欲しい土地に対して決まった対価を払い、土地を購入することになります。

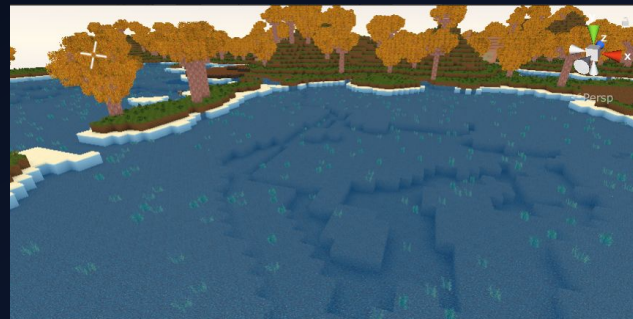


image by VoxelPlay Unity assets

私たちのプロジェクトはThe Sandboxのようなゲームメーカー機能を持つ予定はありませんが、MinecraftのようなVoxelEditの機能には力を入れるつもりで、このVuilder Landの世界はVoxel(つまり正方形のキューブ)によって作られることになるでしょう。

ただ残念ながら、The SandboxもVoxelによる建築機能を持っており、これは既にありきたりなアイデアです。しかしこのプロジェクトは決してThe Sandboxの劣化版ではありません。私たちは、そこにさらに複数のプラスアルファを組み込み、織り交ぜることで新たな価値を生み出すでしょう。より「生活」に密接した独自のプロジェクトになるはずです。

では、そのプラスアルファとは何なのか？ここからはこの仮想世界の世界観やこの世界の特徴をご紹介します。

世界観

まず、この仮想世界が目指すものは、現実離れしたファンタジー空間ではなく、一種の拡張現実です。ユーザーの目的は、ユーザー同士のバトルや敵キャラの撃退ではなく、あくまで土地の発展です。

土地を持たないユーザーはまず「セントラル」と呼ばれる公式が作り出した大陸の中心の土地に降り立ちます。その後、私たちは土地を持ったユーザーに対して、まず自分の住む街を作ったり、家を作ることをお勧めします。ユーザーは決して土地を持つ必要はありませんが、土地はこの世界にとって重要な要素です。

この世界の大陸は大きな海を中心に存在し、大陸の周りを独立した「島」が囲みます。

島は、公式のMAPで確認することが出来ないため、あなたの土地に不特定のユーザーを呼び込む事には適していませんが、よりリーズナブルでプライバシーに守られます。

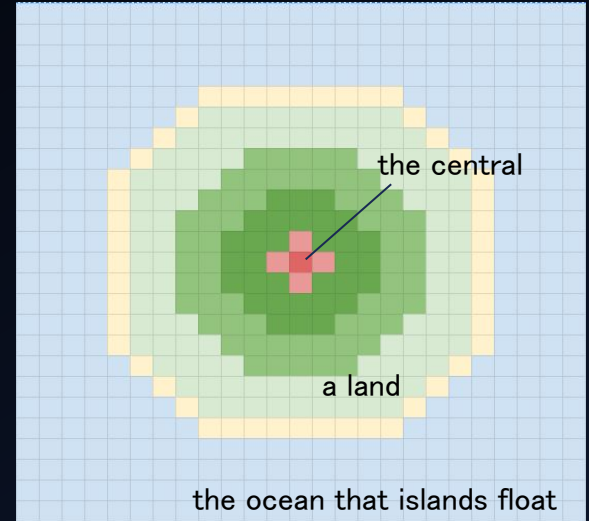
一方、大陸では「セントラル」に近ければ近いほど、土地が大きければ大きいほど一般ユーザーの目に留まりやすく、また、多様な作物が収穫出来たり、貿易を行う住民が現れて、住民が良い食料を得ることで街の発展に大きな影響を及ぼします。

食料の重要性についてもユーザーは知る必要があるでしょう。ユーザーは街の住民に農耕や狩りをしてもらうことで食料を調達してもらうことが出来ます。そしてその食料に引き寄せられて新しい住民が街を訪れます。

もちろん住民が街を訪れるための要素は食料だけではなく様々です。また、ユーザーが街にホテルを作ることで、街を訪れる住民は増えるでしょう(もちろん住民を一切迎え入れず、食料も調達せず、自分だけの無機質な牙城を築くこともできます)。

そして、作物の種などの街の発展によって手に入る様々なアイテムはVUIL TOKENを通貨として、ユーザー間で取引することが出来るようになる予定です。ユーザーはこの世界で生きていく上でVUIL TOKENが必要になることがたびたびあるはずですが、VUIL TOKENを手に入れる方法は様々です。

先述のようにアイテムの取引をしてもよいですし、他の土地の建築を手伝って他のユーザーに報酬をもらってもよいでしょう。公式のイベントで賞金を得るチャンスがある可能性もあります。



また、例えばこの世界で投資を募るスタートアップ企業が現れて、その投資で利益を得ることなども出来れば素晴らしいことですし、私たちはそれらに対して多くのサポートをおこなうつもりです。このようにして VUIL TOKENを軸に街はどんどん発展していきます。すべてはあなたの行動と共に進んでいくのです。

自由に動くキャラクター

そして、その街を形作るために欠かせない要素があります。「キャラクター」です。

私たちの根底である日本文化の一部に、「キャラクタービジネス」があります。

もちろんこのビジネスの王者はディズニーですが、日本からもゴクウ、ナルト、ポケモン、ハローキティなどのキャラクター達が生まれ、世界中で活躍しています。

イーサリアム上のゲームではCryptoKittiesのキャラクター達が世界に熱狂を起こしました。

ユーザーはこの世界で自分の姿を投影したキャラクターを操り、世界を探検することが出来ますが、住民たちのキャラクターは人間ではありません。動物です。

そして彼らのほとんどは実世界に存在する動物で、ライオン、トラ、ゾウ、チワワにゴールデンレトリバーなど種類は様々です。



CryptoKitties

<https://www.cryptokitties.co>

そして彼らはAIによって自由に動き回り、私たちの意図に構わずに住みやすい土地を探し、あなたの街を訪れ、生活するのです。

そしてあなたは、あなたの街に訪れた流浪の旅人たちの中からお気に入りを見つけたら、彼らにNFTとして管理される住民票を与えることができます。

彼らは安住の地を見つけたと喜び、永遠にあなたの土地に忠誠を誓うでしょう。例えばあなたが犬好きなら、あなたの街を犬の楽園にしてもよいでしょうし、キャラクターエディットの機能を使ってあなたの愛するペットをこの世界に作り出して、二人で静かに暮らしてもよいのです。



街の仕様

ここでは街の仕様についてお伝えします。街づくりの自由度に関してはThe SandboxやMinecraftがそうであるようにこの街も自由にカスタムして、あなたが思うままの街を作ることが出来ます。自由にキューブを積み上げてあなただけの土地を作ることが出来るのです。

もちろんあなたの土地で街づくりが出来るのはあなただけです。土地にはあなた以外の人も入ることが出来ますが、あなたの土地を編集できるのはあなただけです。土地はNFTとして存在するため、この権限はブロックチェーンによって保証されます。

ただ、土地の編集を少しだけ行うのにブロックチェーンと同期をしていたら、あなたは莫大なソースを消費して、多くのユーザーは破産してしまう事でしょう。そのため、ブロックチェーンとの同期はユーザーが好きなタイミングで行うことが出来ます。ユーザーが同期したいタイミングで同期して新しい街を公開することが出来ます。

ただ、土地の編集権は一時的に他の人に渡すこともできます。その場合はブロックチェーンとの同期の際にあなたが承認を行うことでブロックチェーンとの同期が実行されます。これによってあなたは例えばVoxEditのプロに街の建設を依頼することが出来ます。

また、所有権を持たせることが出来るのは土地だけではありません。この現実と同じで家にも所有権を持たせることが出来ます。あなたが作りたい家を建て、あなたの表札を付けて扉を閉めれば他の住民は決してそこには入ってきません。他の住民の家もそうです。家にその住民の表札を付ければその住民だけが住む家の完成です。住民も喜ぶはずです。

世界に散らばる謎

最後に、世界に散らばる謎についてお伝えしなければなりません。

この世界はそれぞれのユーザーが土地を持つクラフトゲームであり、オープンワールドのアドベンチャーゲームでもあります。

住民たちが何も知らずに穏やかに過ごすその裏側に、いくつもの謎が散りばめられ、その中にはこの世界の裏側に迫るストーリーもあるかもしれません。

土地を持たないユーザーが最初に降り立つ街「セントラル」を中心に、様々なイベントが仮想世界の様々な場所に用意されるでしょう。

あくまでもこれらのイベントはおまけなので、進めるか進めないかはユーザー次第ですし、ユーザーにとって重要な報酬が手に入るわけではありませんが、ぜひ皆さんに楽しんでいただければと思います。

オンラインカジノ

さて、「オンラインカジノ」の世界では、10か国以上の国にシステムの審査を行う組織があり、その審査を通過することで、ライセンス（信用）を得られる仕組みになっています。（日本ではこのようなビジネスは禁止されており、いくら海外のライセンスを取得しても、国の中でオンラインカジノを運営することはできません。）

ブロックチェーンが生まれる前の世界の常識として、ギャンブルを開闢するサービスが審査の厳しい（高価なライセンス発行料が必要な）ライセンスを得ると、そのサービスは利用者から幾分かの信用を得ることが出来ます。

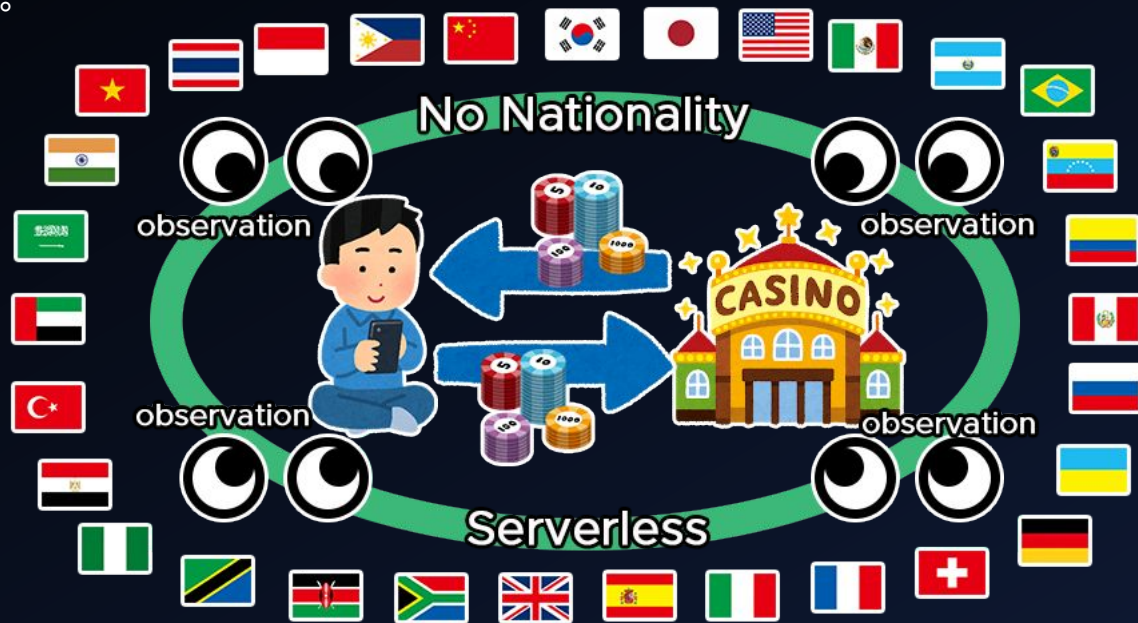
確かにブロックチェーンが生まれる前の世界では、この「信用のためのライセンス管理」は必要かもしれませんが、単一の組織によって審査され、管理され、配られたライセンスをどれだけ信用できるのでしょうか。もし本当に信頼できる組織であっても、私たちはその内部や実情を確認する術はありません。

また、サービスはこの高額なライセンス料を支払った分、スロットなどではユーザーへの還元率も下げざるを得ないでしょうし、運営者の利益確保も必要なため、その負担は消費者が持つことになるでしょう。

しかし、信用と高水準の還元率、この2点を守ることができるカジノがあります。
無国籍で世界中の誰にでも透明化されたカジノ、つまり、ブロックチェーンカジノです。

今までのカジノとは全く違う価値観でしょうが、このカジノは国籍を持たず、ユーザーの操作によって完全に自動で動き、マイナーへの報酬以外の費用を必要としません。その上で、謎に包まれたライセンス管理者ではなく、すべての人々がそのシステム上での通貨の動きを監視することで安心を得ることが出来るのです。

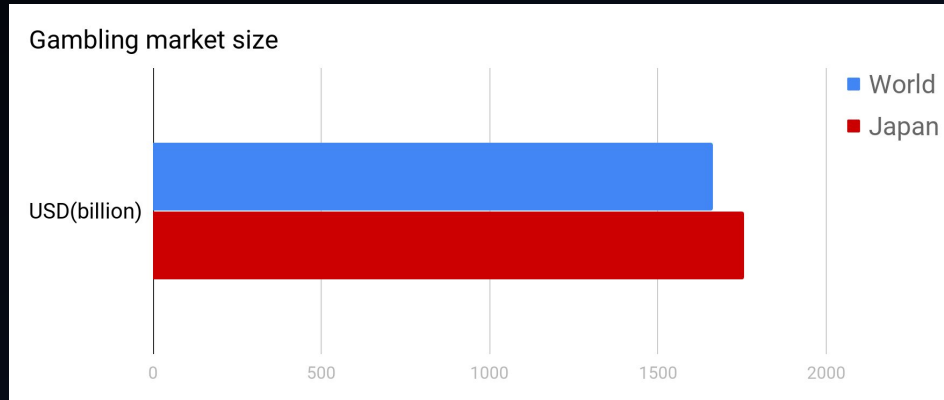
ブロックチェーンには、改ざんの防止に優れる反面、大量データの保持や機密情報の保持には向いていないという欠点もありますが、この「無国籍」「マイナーによって監視されている」という個性は、「国による規制からの不干渉」「信用のためのライセンス管理の省略」という点では大きなアドバンテージとなりえます。



そして、その上で、私たちは日本を大きなターゲットとして考えています。

日本ではあまり多くのギャンブルを楽しむことは出来ませんが、その中でも、「パチンコ」と「スロット」は老若男女問わず、大きな人気を博しています。

世界のカジノの市場規模が18兆円であることに対し、日本のパチンコ・スロット市場は19兆円(2018年時点)と言われています。どれだけ日本人がギャンブルを好んでいるのか、よく分かるはずです。



そのため、私たちは多くの熱狂的な日本人がブロックチェーンカジノをプレイすることを視野に入れ、日本での人気が高いパチンコやスロットもブロックチェーンに内包したいと考えています。

(もちろん私たちは開発を行うだけで、カジノの運営を行うのはブロックチェーンそのものです)

私たちは決してカジノの収益を得ることはありませんが、これにより、私たちのコインは大きな人気を得ることでしょう。

ビジネスツール

ここまでの話では、あくまでエンドユーザーの娯楽要素をお伝えしましたが、生活に密着した仮想世界は現実世界のビジネスとも密接に関わります。

動画アプリやブログでの広告収入、配信アプリでの投げ銭などによる直接収入、また、企業や個人がECサイトやオークションサイトで得る販売収入、webを通して得る投資収入など、オンラインによる収益の形は様々ですが、私たちも、既に流通している様々なオンラインのビジネスにVUIL TOKENをフィットさせたいと考えています。

例えば、オンラインショップでの決済ツールや、アフィリエイトシステム、そして、ブロックチェーン業界特有の分散型金融システム(Defi)の開発に取り組みます。

Defiでは、あなたが仮想通貨の貸し付けを行うことで、あなたが貸主としてその利息を受け取ったり、独自トークンを受け取るという形で、投資収益を得ることが出来ます。

また、このような投資収益だけでなく、あなたが現実世界で行うビジネスにも私たちは密接に関わります。

例えば、Shopifyを使ったオンラインショップがVUIL TOKENでの決済を行いたい場合、私たちが今後制作するプラグインを導入すれば、事業主は自分のEthereumアドレスを入力するだけでEtherによる手数料が不要なVUIL決済を導入することが出来ます。

これはShopifyだけではなく、EC-CUBEなど他のショッピングプラットフォームでも同様です。ユーザーはMetamaskを通してこれらを利用することになるでしょう。

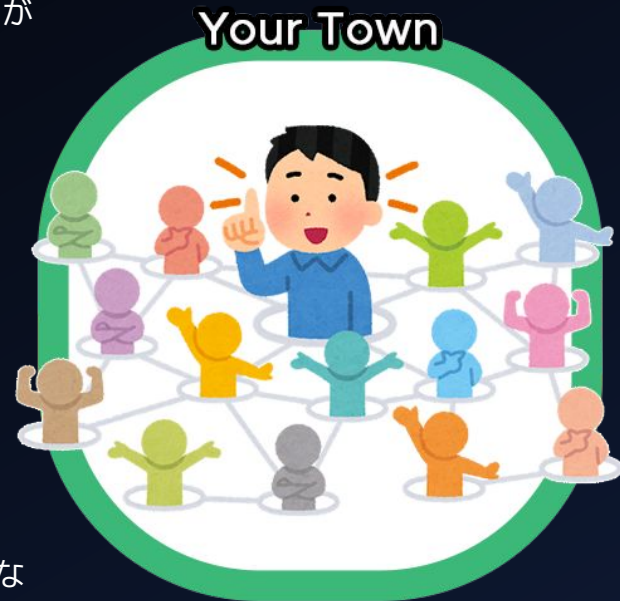
また、VuilderLandはオンライン収益の新たな形も提案します。

例えば、あなたが開催するビジネスコミュニティ（会社やメンバー制サービス、ビジネスのグループなど）がVuilder Land内の土地を持ったとして、あなたのコミュニティのメンバー(社員やサービスの月額利用者)に対して、あなたはあなたの土地の一部(もしくは家)を貸し出すことが出来ます。

これによってメンバーはこの仮想世界に家を持ち、あなたの街の一員となることが出来ます。街のリーダーであるあなたが街に降り立てば、メンバーはあなたと同じ空間に居ることを実感できるでしょう。

利用方法はそれだけではありません。メンバーに土地を提供せずとも、あなたを応援してくれている人たちをあなたの街に招き、メンバー同士の会話を楽しんでもらったり、あなたが公開するコンテンツをメンバーに閲覧してもらうことが出来るでしょう。

コミュニケーションの方法も様々で、この世界にもSlackのようなチャットツールの実装を考えていますが、例えば街の中にスクリーンを置いて、そこにYoutubeのLIVE配信の画面を置いて直接メンバーと交流することも可能です。



街にあなたのショップサイトへのリンクを置いて、街からショップに飛んでもらってもいいですし、街の中にあなたのショップを置くのも簡単です。VuilderLandはshopifyのような機能も持ち、あなたが簡単にこの世界の内外にショップを構築するためのプラットフォームとしても機能するでしょう。

VuilderLandに創られたショップは分散化され、とてもユーザビリティに優れたものになります。私たちの構想ではショップの運営者は何かを販売する際に、プラットフォームに対して一切手数料を支払う必要はありません。ただ、商品をショップに設置する際にいくらかのVUIL TOKENを所持しておく必要があります。もし商品がすべて売れたり、ショップが閉じたりした場合、運営者はそのトークンを手放せばよいのです。



ウォレットアプリ

最後に紹介するのは、ここまで紹介した各機能を効率的に使うためのウォレットアプリ「Virtual Wallet」です。

アプリ版の開発も視野にはありますが、私たちはこのウォレットをProgressive Web Application(PWA)として開発し、既にβ版をリリース済みです。

「Virtual Wallet」は、VUIL TOKENだけでなく、Bitcoin、Ether、Ripple、ERC20のすべてに対応しており、今後も様々な対応通貨を増やす予定です。そしてこのウォレットはもちろんVUIL TOKENのXagent APIによるEther不要の送金を全面的にサポートします。前述の仮想世界「Vuilder Land」もこのウォレットからスムーズに接続することが出来ます(もちろんVuilder Land単体でもMetamaskを通して遊ぶことが出来ます)。ユーザーたちはこれを使ってDeFiを利用したり、広告による報酬を得たり、ある時はそれを仮想世界への扉にすることになるでしょう。

しかし、あくまでも私たちはブロックチェーンに接続する入口を提供するだけであり、各個人の居住する国の法律までは関与することが出来ません。

例えばブロックチェーン上のカジノを遊ぶ事が法律で許されない国やウォレット上でのトークンの購入が許されない国があっても、私たちは一つ一つの国の法律を細かく調べる労力を割くことは出来ないのです。そこは、各個人で注意していただくよう警告は発信していくつもりです。

次のページではVirtual Walletのすでに公開されている機能と、今後公開される機能を簡単に説明します。

1.ウォレット機能

まずはウォレット機能に関して。現在はBitcoin,Ether,Ripple、そしてすべてのERC20トークンの管理を行うことが出来ます。もちろん、今後私たちは通貨の種類を増やす予定です。

2.ワークス(お小遣い)機能

ワークス(お小遣い)機能は、ウォレット上に公開される広告案件(例えばサービスへの無料登録や商品の購入など)をユーザーが実行することで、ユーザーがEtherなどの通貨で報酬を受け取ることが出来る機能です。(一部の国でのみ公開)

3.トークンセール機能(未公開)

VUIL TOKENの購入機能です。トークンセール開始後しばらくして公開する予定です。(法的に可能な国にのみ公開予定)

4.DEX/DeFi機能(未公開)

分散取引所(DEX)に接続し、仮想通貨の取引機能やDeFi機能を利用することで資産運用することができます。

5.仮想世界への接続機能(未公開)

これは言い換えれば、オンラインゲームをプレイすることが出来るという意味です。私たちは、ユーザー同士のショッピングや様々なゲームなど、現実世界と同等の娯楽を楽しむことが出来る仮想世界を創る事を目標としています。

VUIL TOKENの発行数と配布の割合

ここでは発行数と配布の割合について説明します。トークンの総発行量は5000000000VUILで、配布の割合は以下のグラフ・表を参照してください。

配布の割合

開発者への報酬

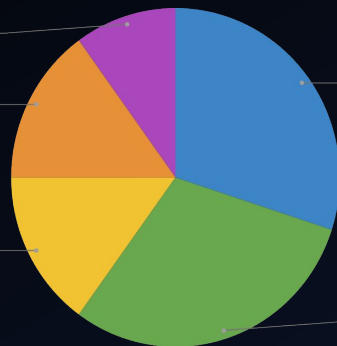
10.0%

DEXでの配布

15.0%

報酬プログラムへの利用

15.0%



トークンセール
30.0%

ホールド
30.0%

総発行数	5000000000VUIL
トークンセール	1500000000VUIL(30%)
ホールド	1500000000VUIL(30%)
報酬プログラムへの利用	750000000VUIL(15%)
DEXでの配布	750000000VUIL(15%)
開発者への報酬	500000000VUIL(10%)

トークンセール . . . トークンセールによって放出されます。トークンの放出によってプロジェクトはプロジェクトの開発・広報の費用をEtherとして得ることになります。
ここで放出されなかったトークンはDEXでの配分に回されます。
トークンセールは3回に分けて実施されます。

ホールド トークン開始から1年間は開発者も引き出すことはできません。1年間のホールド期間の後、トークンは何らかの方法で市場に放出されます。

報酬プログラム . . . VUILDERLANDはいくつかの報酬プログラムを実施します。その報酬としてトークンが配布されます。

DEXでの配布 私たち、もしくは外部チームによって開発されたDeFiにおいてトークンの貸付を行ったユーザーに対して配布されます。

開発者への報酬 . . . 現在の開発チームは有志の集合体なので、現在はメンバー全員が実質無給で開発に参加しています。
そのため、トークンセール終了後に開発者たちや協力者たちに対して、いくらかのバウンティを支払います。

トークンセール

トークンセールの概要

トークンセールは今後のVUILDERLANDプロジェクトの開発費用を得るために開催されます。

セールは3回行う予定で、βテストも兼ねた1度目のトークンセールが2021年に開催されます。

トークン購入者がVUIL TOKENのクラウドセールのアドレスに対してEtherを送金すると、送金者に対して自動でトークンが送られます。送金金額の最低限度は0.01ETHです。私達はトークンセールのためのスマートコントラクトを実装しているため、Etherを支払ったのにトークンが配布されないというトラブルは起こりません。

もしあなたが私達のオフィシャルページから購入の申請を提出して、VUIL TOKENコントラクトに入金するならば、そのタイミングが早ければ早いほど安くコインを買うことができます。

また、どこかのタイミングでVirtual Wallet内にもトークン購入ページを用意する予定です。

すべてのトークンセールで放出されるトークンの数は、トークンの発行量の30%にあたります。また、このトークンセールのキャンペーンをお手伝い頂く企業や個人への報酬のため、報酬プログラムのための配分の内の15000000VUILが使用されます。

それ以外のトークンがどのように使われるかは前の項目を参照してください。

トークンセールの詳細

2021年のトークンセールでは、トークンセールで放出される全トークンの内、3分の1が放出されます。最大調達額の2,500ETHを調達した場合、セールは即時終了します。価格や期間に関する詳細は下の表を参照してください。

セールにおける 総配布数	500000000VUIL	
セールにおける 最大調達額	2500ETH	
	セール期間	1ETHあたりの配布枚数
1st (4weeks)	2021/09/01 00:00 UTC ~ 2021/09/28 23:59 UTC	240000VUIL (+20%)
2nd (6weeks)	2021/09/29 00:00 UTC ~ 2021/11/10 23:59 UTC	230000VUIL (+15%)
2nd (6weeks)	2021/11/11 00:00 UTC ~ 2021/12/21 23:59 UTC	220000VUIL (+10%)
4th (8weeks)	2021/12/22 00:00 UTC ~ 2022/02/16 23:59 UTC	210000VUIL (+5%)

日本の法律について

私達は日本に拠点を置く以上、日本の資金決済法から逃れることは出来ません。

ここでは我々の現時点での法的な立ち位置と、どのタイミングでどのような申請を行うかを説明します。

日本の法規制に関してはここで語るまでもないので、このような他のwebサイトを確認していただければと思います。→https://topcourt-law.com/virtual_currency/ico_regulations_financing

一般に、日本でトークンを発行するのは自由ですが、販売するときは、「資金決済法」に則り、「仮想通貨交換業者」としての資格を得る必要があります。これは、スモールスタートのプロジェクトに対してあまりにハードルの高い資格です。

しかしこの資格が必要なケースは限られます。私たちは特定のユーザーのみコインを送金できるようにスマートコントラクトに独自の設計を施すことでこの資格を取得する必要がないようにしています。これは、仮想通貨法で示される仮想通貨の定義である“**利用者の不特定性**”を無くすための技術的な制限です。

つまり日本のユーザーはトークンセールを開始時点でサービス利用以外での送金を行うことはできません。

この技術的制限の解除に関してはこの法的な壁を突破する上で、このホワイトペーパーで言及することはできませんが、日本のトークン利用者にとっても素晴らしい結果にはなるはずで

権限について

セールの実施において、誰にどのような権限があるかを公開する必要があります。

まず、日本の法律を犯さないための方法として、トークンに対して特定のユーザーのみコインを受け取れるように技術的な制限を設けているので、オーナーアカウントはその特定のユーザーのホワイトリストを作成する権限を持ちます。さらに、その制限自体を解除する権限を持ちます。

この制限は私たちが直接トークンを販売している限りは解除するわけにはいきませんが、トークンの持つ可能性を広げるために大きな意味を持ちます。

そして、オーナーアカウントは、コントラクトのアップデート権限を持っています。これは大変大きな権限ですが、コントラクトのアップデートに関してはアップデートが不要であると判断したタイミングでアップデート機能の永久凍結を行う予定です。

進捗

さて、ここまで開発済みのもの、開発中のもの、構想中のものをすべてまとめて私たちの提案として発表してきましたが、ここでは私たちが作りたいものがどれだけ具現化できているかをお伝えします。

以下のリストをご覧ください。

- ・ トークンコントラクト実装：100%
- ・ wallet system 実装：100%(on β test)
- ・ Xagent API 実装：20%
- ・ Vuilder Landコントラクト実装：10%

みなさんが私たちのプログラムを簡単に利用するためのAPIや仮想世界は未完成の状態ですが、コアとなるスマートコントラクト（ブロックチェーン部分のプログラム）の実装は完了していて、あとは通常のシステム制作の要領で仕事を全うするだけです。

ロードマップ

このセクションでは私達のロードマップを公開します。これは最低目標である1000ETHを達成した場合のロードマップです。資金が集まればより多くのエンジニアを雇い、プロジェクトは加速するはずです。

Sep.2021

トークンセール 開始

Oct.2021

Virtual Wallet 多言語化対応開始

Feb.2022

トークンセール 終了

Dec.2022

Vuilder Land 土地アセットの販売を開始

2023.Jan

調達したEtherを投入し、流動性を増すためのアップデートに関する施策の実行開始

2023.Jun

Xagent API リリース

2024.Jan

Vuilder Land リリース

2023.Janの流動性を増すためのアップデートの詳細はここでは詳しく述べられませんが、私達はICO終了後にそれを発表します。それはあなた達を十分満足させるものになる予定です。

※このスケジュールはあくまで計画であってプロジェクトのスピードを担保するものではありませんのでご容赦ください。

あとがき

ここまで読み進めて下さり、ほんとうにありがとうございます。

VUIDERLANDは本当に小さなスタートアップのEthereumトークン/Dapps開発チームです。私たちは経理的実体を持たず、開発以外の全ての業務をブロックチェーンの上だけで行います。

プロジェクトの便宜上のCEOは日本におり、もちろんCEOは全てのトラブルの責任者であり、フロントに立つこともあるでしょう。しかし、それ以外の状況ではただオーナーアカウントを持ち、トークンのたった15%を配分出来る立場にすぎません。

権利の分散化された組織による、分散化されたシステム。これが私たちの理想です。

そして、私たちはその分散化されたシステムによって、ありふれた(ガチャのような)ポイントシステムに慣らされた課金サービスの形を壊し、簡単に送金を行えるユーザビリティによって、ノンビットコイン者達にライトに暗号通貨を持つことを体感してもらいたいと考えています。

それぞれの国でそれぞれのユーザーが私たちや私たちのような組織の施策を踏み台にして、会社の利益のためにユーザーや末端の会社から資金をむしり取るようなゲームや決済の古い習慣を破壊し続け、新たな世界を再構築することを私たちは望んでいます。

これによって世界中の人達が「課金ではなく資金で遊ぶ」世界を実現できるでしょう。

私達は確かに小さな存在ですが、暗号通貨の成長と共に一步步進化し、これらの歴史に新たな足跡を残したいと考えています。

ここまで読んで頂き、ありがとうございました。

質問はTelegramで受け付けますので、ぜひTelegramコミュニティにご参加ください。

LINK⇒[VUILDERLAND Telegram Community](#)

コアメンバー

Hiroshi Nakashima

CEO/CTO。文化服装学院を卒業後、デザイン会社やweb企業で働き、デザインとサイト運営の基礎を学ぶ。2015年からはシステムエンジニアに転向し、インフラエンジニア / サーバーサイドエンジニアとして勤務。2017年からは在籍していた会社でシステム管理者として従事するも、2018年に新たな経験を積むためシステム開発会社に転職。ブロックチェーンに出会い、Ethereumトークンの開発を独学で開始。

2018年「XIOプロジェクト」を開始。移り変わるブロックチェーン業界の流行に合わせてプロジェクトをアップデートし、2021年、プロジェクトを「VUILDERLAND」としてリブランドしてスタートさせた。